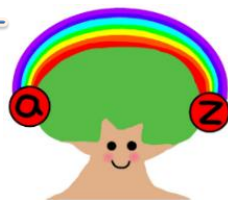




社会福祉法人 北摂杉の子会

こども発達支援センター

az



2019年12月改訂

こども発達支援センターazは、
大阪市発達障がい児専門療育を受諾しています
(児童発達支援事業／放課後等デイサービス事業)

★専門療育の利用期間は4月～翌年3月になります



地下鉄御堂筋線 長居駅2出口より 徒歩約7分
JR阪和線 長居駅より 徒歩約5分
西へ直進 長居商店街をアーケード沿いに北へ
商店街をぬけて約50m進む

〒558-0003

大阪市住吉区長居2丁目4-1

サンテ長居ビル1階

電話 06-6654-8777

FAX 06-6654-8780

(営業時間 10:00～17:30)



療育方針

1 自閉症等の特性理解

まず保護者が特性について正しく理解し、特性に配慮した支援が日常的に行なわれるように支援します。

2 個別の評価と目標設定

子どもを個別に丁寧に評価し、保護者と情報を共有します。その上で個別の支援プログラムを保護者と共同で立案します。

3 支援方法のモデル提示

療育の中で個別の目標に合わせた具体的な支援方法のモデルを提示します。

4 家庭地域への応用発展

療育場面で身につけたことを、家庭や地域の生活の場へ段階的に上げていくことを目指します。

療育は保護者の方と協働のもとすすめていきます

○対象者

- ・年齢は年少から小学校3年生のお子さま
- ・定員60名(幼児40名/学齢児20名)
- ・医療機関で「自閉スペクトラム症」「自閉症」「広汎性発達障がい」「アスペルガー症候群」等の診断を受けた児童及び保護者の方
- ・保護者同伴で1年間(療育20回)継続して通所が可能で、保護者研修(年10回)に参加できる方 ※兄弟児を連れての利用は、お断りしています。

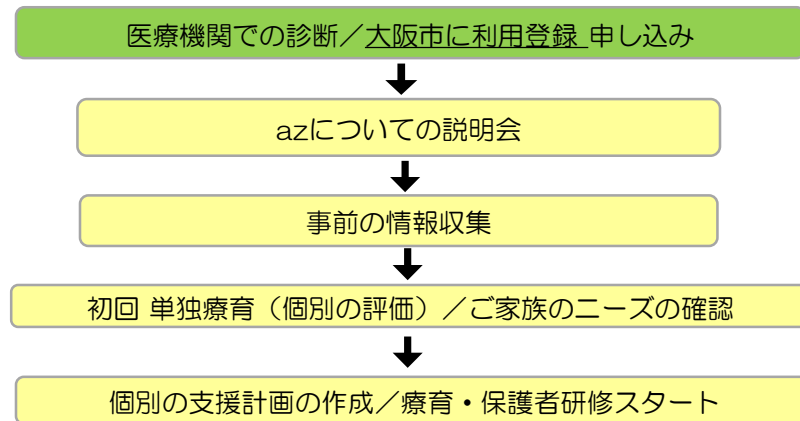
○療育日・時間

- ・平日の10:00～17:30までの間の1時間

○利用料金

療育の利用については、国が定める利用者負担額を徴収させていただきます
小学生については、平日の利用と夏休みなどの利用では負担額が異なります
ご利用いただくにあたり、通所受給者証の取得が必要になります

○療育利用の流れ



○療育の内容

- ・個別の支援計画をもとに、一人ひとりに応じたプログラムを提供します
- ・個別に行動や感覚の特徴・学習スタイル（強み・弱み）、興味関心などの行動観察を実施し、丁寧に評価をした上で、一人ひとりに合わせた個別療育を実施します
- ・療育中は、保護者の方にも療育に参加して頂きます

○1時間の流れ（※個別の目標によって内容は変更になります）

活動	内容
身支度	お支度を自立して行います
スタッフと課題	目標になったことをスタッフと練習します
あそび	活動の切り替えや余暇の拡大を目指します
ひとりで課題	ひとりでできた！成功体験を積み重ねます
リラックス	好きな感覚を使って休憩します
手洗い・おやつ	コミュニケーションの練習をします
はみがき	身辺面の自立を目指します
終わりの会	azの終わりを理解します



保護者研修

○保護者研修（受講必須） 月1回 全10回

保護者の方が、我が子についての理解を深め、適切な支援の観点とその方法について学習することを目的としています。保護者同士の交流や情報交換なども行っています。

回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	『自閉スペクトラム症の特性の理解①』
第3回	『自閉スペクトラム症の特性の理解②』・疑似体験
第4回	『子どものいいところを見つけよう！』
第5回	『子どもに分かりやすく伝えるには？』
第6回	『人との関わりやコミュニケーション』
第7回	『身辺自立やお手伝いの力を育てるには？』
第8回	『取り組みでうまくいったことを発表しよう！』
第9回	『困った行動の原因を考えてみよう！』
第10回	1年間を振り返り、まとめ

○療育相談（希望者のみ） 料金：無料

療育・保護者研修では解決しにくい問題について個別に相談に応じるために相談業務を実施しています。

○利用者の声

子どもは、「難しそうだな」「きっとできない」という気持ちから新しいことに取り組むのが嫌いだったが、この1年で何事にも「やってみよう」という姿勢が見られるようになった。適切な支援で成功体験を積んだことで、意欲的に取り組めるようになり、結果「できること」がたくさん増えた。



発達の遅れに対して、焦りや不安をまだ感じる時はあるが、以前よりも余裕を持って子どもに接することができるようになり、子どもなりの成長のスピードや変化を感じ、嬉しく思えるようになった。